

第6回目講義についての感想

岡山高校 2年
白石 楓佳

今回の講義は角谷賢二先生でした。テーマは「最先端科学とアートの出会い～ミュオグラフィアートとは？～」で、先生は、日立マクセルで磁気テープの研究開発に長年携わり役員を務められた後、現在は関西大学客員教授として活躍されているとのことでした。

最近では宇宙線のミュオンを利用した最新技術で今城塚古墳の透視実験を行っているということです。ミュオンがもたらす透視技術の、原理から観測限界までの理解を伝えるため、科学者と芸術家とが連携してミュオグラフィ・アート活動をすすめているということです。岡山大学でもこのミュオンを利用した造山古墳の透視実験に乗り出すなど、新たな研究活動も精力的にされていることを教えてくださいました。

このような新しい技術によって歴史や学問の研究がすすんでいるということをとっても興味深く感じました。